

第1号議案 令和4年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

【1】令和4年度一般経過報告

令和4年度に於きましては、長引くコロナ禍により一部の活動が制約されましたが、総本部では、「人生100年時代」を見据えて、新たな日常の枠組みの中でコロナとの共生を図りながら、10年後を視野に入れた諸施策の立案・実行に力を入れてきました。

特に令和5年度に迎える創立90周年に向け、基盤となる「会員1万人復活活動の集中実施」に加えて「財政基盤の健全化」を緊急最重点課題とし、為すべき施策を大胆に実行して参りました。コロナ禍に加えて高齢化が一層進み、会員減少には十分な歯止めが掛かりませんでした。

今後も会員減少が進むと思われますので財政基盤の健全化に向けて更なる努力が必要と考えます。

【2】重点施策の結果

1. 会員1万人復活へ向けての具体的な方策

- ① 地区連合会と協力して組織点検と会・支部への支援策を実施した。

現地からの会閉鎖の情報をもとに、他会への紹介など歯止めの活動を行った。

- ② 新入会・再入会促進運動（キャンペーンの実施）

令和3年10月から令和5年3月末までをキャンペーン期間とし、新規会員獲得に向け「ひとり一声運動」の継続実施と入会金免除の特典付与を継続して、昨年に引き続き2度にわたって推進具体策を示し、更に1万人復活活動の最終点検もお願いするなど、新入会・再入会の呼びかけを行いました。

結果として再入会116人になり、3桁の数字は4年振りでありましたが、1万人復活には及ばない結果となりました。

しかし、諦めず本部・各会・会員が一体となって会員増員に向けて活動しましょう。

- ③ 吟詠普及推進事業は全国5地区で実施、690人（内一般会員210人）

の参加を得た。

- ④ 指導者養成講座として、第8期東明未来塾本部コース25名を実施。新たな試みとして地方コース（西中国コース・四国コース）は本部コースにリモート参加。（西中国19名・四国9名）
ZOOMを利用しての地方のリモート参加方式は経費削減効果も含め、時代の要請に沿ったもので地方参加者の満足度も比較的高かった。

2. 財政基盤健全化施策の実施

- ① 財政健全化特別委員会を立ち上げ、将来に亘って実現可能でバランスの取れた収支計画の提言を得た。固定費圧縮を含めた経費計画の見直し（作業効率化により印刷物の外注をやめ事務局内で作成）、基幹収入（会費・昇段昇格免許・教本販売）に見合う本部規模にするため、具体的な削減策を策定した。
- ② 緊急3ヵ年計画の策定。（R4年～6年）
 - ・ 会員数等の中期予測と事業見直しを行い改善策を検討した。
 - ・ 体質の転換を図るとともに、収支マイナスを無くした。
 - ・ 人件費の削減、出務費用・出張旅費等の削減を図った。
 - ・ 新しい財源獲得手段、収益向上策の検討を引き続き行うこととした。
- ③ 令和4年度、「全部門支出10%削減」を目標に予算書作成した。

3. 吟詠普及推進事業、東明未来塾、研修会等は、リモート研修の充実によって広範囲な受講者参加を図った。

4. 吟道大学講座を復活実施した。

5. 高齢者活動支援として、全国競吟大会にシニアの部門を追加した。

6. 青年部の吟詠普及の為、全国発表会をリモート活用で実施した。

7. 局部制の一層の充実

「指導局」「管理局」「広報局」それぞれが、重点課題・目標に向かって

効率よく実施された。

8. 経費削減対策に合わせて規程類の整理及び変更を実施した。
9. 公益事業の更なる推進として、承認会事業及び地区連合会と連携を行った。
10. 90周年記念大会に向けて、記念誌作成委員会及び大会実行委員会を立ち上げた。

会員数は令和5年3月末現在7,824人となり、△451人（△5.5%）の減少となりました。

新入会者数523人（再入会者含む）に対し、退会者が974人でした。

以 上

令和4年度事業報告

自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠の素晴らしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図った。又、地区事情に合わせて、新指導者の研修に取り組んだ。

① 全国吟詠大会 in 大阪

出演者は全国より推薦された師範代以上の指導者で、広く一般の方々に古典芸能としての吟詠を、さまざまな形でお聞きいただき、吟詠普及に努める。又、幼少年・青年層の育成の為発表の場を作り、吟詠の普及継承を図る。事業開催頻度の見直しを行い、毎年から隔年開催に変更した。従って今年度は開催無し。

② 新春吟詠大会

・令和5年1月9日（祝） 都ホテル尼崎

新年を寿ぎ全国より会員及び不特定多数の者が集い、関西吟詩の優秀吟者の吟詠を鑑賞するとともに、参加者全員の吟詠を行って懇親を深めた。

217人参加(内一般会員他30人)

③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）

研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠を鑑賞頂いた。但し、新型コロナウイルス感染防止の為、今年度も予定していた一部の大会が中止となった。

吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会

	令和4年6月12日（日）	240人参加(内一般会員他70人)
九州大会	令和4年6月19日（日）	110人参加(内一般会員他30人)
岡山大会	令和4年8月7日（日）	90人参加(内一般会員他30人)
京滋福井大会	令和5年2月12日（日）	【新型コロナ感染防止の為中止】
四国大会	令和5年2月26日（日）	85人参加(内一般会員他30人)
西中国大会	令和5年3月19日（日）	165人参加(内一般会員他50人)

(2) 周年記念大会

① 総本部：創立90周年を令和5年に控え、記念誌作成委員会及び4地区に於いて記念吟詠大会実行委員会を立ち上げ準備作業を行った。

② 承認会の周年記念大会開催。

・令和4年10月30日（日）承認 白鷺連合会 会場：宝塚ホテル
創立60周年記念大会を300人の会員が集い開催した。

- ・令和4年11月23日（祝） 承認 哲友会 会場：アルカイクホール
創立65周年記念大会を650人の会員が集い開催した。

③ 各公認団体等の記念大会等への後援

令和4年 7月17日 東海地区連合会創立30周年記念事業
令和4年10月23日 広島鷺夕会創立50周年記念吟詠大会
令和4年10月30日 島根浜鷺吟詠会創立35周年記念大会
令和4年11月 6日 容聖会設立20周年記念大会
令和4年12月 5日 錦堂会結成60周年記念大会
令和5年 2月19日 鷺伸吟詠会創立60周年記念祝賀会
等々

(3) 吟詠普及啓発活動を新型コロナウイルス感染防止対策を施して取り組んだ。

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣
 - ・ 小中学での課外授業への積極的参加
 - ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
- ② 福祉施設、地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
- ③ 学校、図書館などへの吟詠資料提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加。
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加・・・【新型コロナ感染防止のため中止】

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

岳豊会の幼少年育成並びに鷺照吟詠会の吟詠普及活動に対し規約に則り助成を行った。

(5) 全国青年部錬成会を行う。

青年部主導で青年部員吟詠、幼少年吟詠、役員吟詠、他流優秀吟者吟詠、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承を図る。事業開催頻度の見直しを行い、今年度は錬成会を令和4年9月4日（日）総本部会館に於いて、青年部員29名と総本部役員5名が集い開催した。

(6) 電磁的公報、機関誌発行

- ① 吟詠普及の為にユーチューブ配信の推進。
ユーチューブを通じて吟詠推進活動を継続配信して、不特定多数の人に詩吟活動をアピールする取組みを行った。
- ② ホームページでの吟詠普及の取組みを行った。
 - ・ 教場紹介検索コーナーを設け、「教場一覧」画面を掲載
 - ・ 漢詩紹介の拡充のために「悠久の名詩選Ⅱ」を掲載
 - ・ 特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介
- ③ 機関誌「吟詩日本」を発行。（一般販売）
 - ・ 時代に即応できるよう改善実施を行った。
 - ・ 漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
 - ・ 「吟詩日本」（197号、198号、199号、200号）を発行した。

(7) 教本発行（一般販売）

- ① 教本冊子頒布。

- ・新教本初級編他（既刊教本）の頒布を行った。
 - ・新教本 B 縮刷本（新刊教本）の頒布を行った。
 - ・和歌 6 題の単本 2 冊（新刊教本）の頒布を行った。
- ② 「和歌・俳句・新体詩(近代詩)」縮刷本発行の検討を行った。

(8) 海外移動教室の開講

新型コロナウイルス感染症蔓延のため「中国漢詩紀行」計画は見送った。

(9) 国内移動教室の開講

国内の史跡、詩歌ゆかりの地を巡り、歴史、文化の理解を深め詩吟の普及向上を図る為、大阪実業団詩吟連盟と共同企画で「北陸方面の漢詩紀行」令和 4 年 10 月 19 日～21 日（二泊三日）の国内移動教室を 26 人参加で開講した。

(10) 災害復興支援活動の実施

・災害復興義援金の募集活動継続実施した。(イベント開催都度に呼掛け)

公益目的 2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催（一般来聴歓迎）

- ① 全国新人中間層競吟大会 エーリック（尼崎）
令和 4 年 11 月 13 日(日) 参加者 360 人 出吟者 227 人
- ② 全国準師範師範代・指導者級吟士権者決定吟詩大会 現代劇場(高槻)
令和 4 年 12 月 11 日(日) 参加者 560 人 出吟者 361 人
- ③ 全国競吟大会予選大会
- ・大阪地区大会・九州地区大会・西中国地区大会・岡山地区大会
 - ・四国地区大会・兵庫地区大会・奈良地区大会・和歌山地区大会
 - ・京都地区大会・滋賀地区大会・東海地区大会

(2) 昇段審査、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規程に基づき昇段審査を行い合格者に段位を授与した。
 - ・内部規程に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与した。
- ① 昇段審査は内部規程に基づき、一次審査は公認団体毎に実施。二次審査は総本部において実施し会長が認定した。
令和 4 年 7 月 1 日付及び令和 5 年 1 月 1 日付で昇段免許を授与した。
- ② 地方昇格試験を実施した。(師範・準師範・師範代)
- | | |
|--------|--------------------|
| 福岡試験場 | 令和 4 年 6 月 19 日(日) |
| 広島試験場 | 令和 4 年 6 月 19 日(日) |
| 名古屋試験場 | 令和 4 年 6 月 19 日(日) |
- ③ 総本部試験場で昇格試験を実施した。
- | | |
|------------|--------------------|
| 師範・準師範・師範代 | 令和 4 年 7 月 17 日(日) |
|------------|--------------------|
- 昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で東明祭（9 月 11 日）において免許状を授与した。

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声

法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

【公益目的 1 の詩歌吟詠の普及推進事業】に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

- ・ 吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会 エーリック
令和 4 年 6 月 12 日 (日)

240 人参加(内一般会員他 70 人)

- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会
令和 4 年 6 月 19 日 (日) 110 人参加(内一般会員他 30 人)
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会
令和 4 年 8 月 7 日 (日) 90 人参加(内一般会員他 30 人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会

【新型コロナ感染防止のため中止】

- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会
令和 5 年 2 月 26 日(日) 85 人参加(内一般会員他 30 人)
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会
令和 5 年 3 月 19 日(日) 165 人参加(内一般会員他 50 人)

② 指導者研修会を会場参加にリモート方式参加を併せて行った。

- 1) 推薦師範講習会 令和 4 年 6 月 12 日 (日) エーリック
240 人参加(内一般会員他 70 人)
- 2) 吟詠研修会 令和 4 年 9 月 11 日(日) 大東市市民会館
260 人参加(内一般会員他 80 人)
- 3) 昇格課題詩研修会(令和 5 年度 師範・準師範・師範代昇格課題詩)
令和 4 年 11 月 20 日(日) 総本部
(長詩 4 題・和歌 3 題・律詩 6 題・絶句 8 題)
200 人参加(内一般会員他 40 人)

③ 吟道大学講座の開講

- ・ 令和 5 年 2 月 4 日(土)～5 日(日) パナソニックリゾート大阪
- ・ 漢詩、和歌、俳句、新体詩の吟詠技能・発声技能研修、中国・日本の歴史講座
125 人参加(内一般会員他 40 人)

④ 新指導者養成講座「第 8 期 東明未来塾」を総本部コースをメイン会場として、地方コースは本部コースにリモート参加の方式で開設した。漢詩鑑賞、作詩法、発声の理論、指導者の心構え、組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修、中国・日本の歴史講座

○ 総本部コース

- ・ 開催回数 4 回/年
令和 4 年 9 月 24 日(土) 令和 4 年 11 月 26 日(土)
令和 5 年 1 月 28 日(土) 令和 5 年 3 月 25 日(土)
・ 受講者数 25 人

○ 地方コース (本部コースにリモート参加)

- ・ 四国地区 (高知・徳島) ・ 受講者数 9 人
- ・ 西中国地区 (広島・山口・島根) ・ 受講者数 19 人

- ・ 東海地区 (静岡・愛知・三重) 【開設無し】
- ・ 九州地区 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島) 【開設無し】

- ⑤ 作詩講座（一般公募） 総本部 会議室
 作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技
 量の向上を図った。
 ・毎月第2金曜日 午後2時～4時00分迄
 年12回（前期、後期に分けて） 参加者数 延180人
- ⑥ 作詩添削
 一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削な
 どの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上
 を図った。
 ・4回/年 応募作品数 134作品
- ⑦ 漢詩鑑賞講座（一般公募） 総本部 会議室
 漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも
 漢詩を広める活動を行った。
 ・2カ月1回（年6回） 午後2時～4時30分迄
 参加者数 延275人

（4）研究会

- ・指導局指導部会 ・指導局教養部会 ・指導局教本作成部会
- ・秀詠グループ吟詠研究会
 時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新
 しい教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術探
 求などの研究を行った。

（5）部会・委員会

- ・広報局広報部・広報局ホームページ委員会
 不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および
 吟詠普及活動のための広報活動を行った。
- ・広報局企画部
 吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対
 策案の提言を行った。
- ・青年部
 不特定多数の人及び青年層に対して広く吟詠普及活動を行った。
- ・作詩添削委員会
 会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行うため、委員
 会を設置した。

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等の頒布を行った。

（1）参考図書の頒布

- ① 誰にでもできる漢詩の作り方（太刀掛呂山著）
- ② 作詩便覧 宮崎東明編の頒布

- ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行の頒布
中国編 関西吟詩文化協会発行の頒布

(2) CDの頒布

- ・和漢名詩選(一～七)他 (既存) 既存 CD の頒布
- ・和漢名詩選(八) (新作) 新作 CD の頒布
- ・本部指導者研修会収録編 (新作) 新作 CD の頒布

DVD の頒布

- ・「昔ばなし 一寸法師」他 既存 DVD の頒布

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を
交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段審査に合格した者に対し免状を授与した。

令和4年7月1日付及び令和5年1月1日付

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

- ・所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与した。

令和4年9月1日付

- ・推薦による昇格申請に基づき審査し、昇格免状を授与した。

令和4年9月2日付

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範)

推薦による昇格申請に従って審査し、特別昇格の称号を授与した。

令和4年9月2日付

(2) 記章の販売

「師範・準師範・師範代・会員」バッジの販売を行った。

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

(1) 東明祭の開催と功労者顕彰を行った。 令和4年9月11日(日)

① 会員増員表彰 (個人、支部、会) 令和4年9月1日付

② 敬老祝、成人祝 令和4年7月1日付

③ 功労者等顕彰の実施 令和4年9月1日付

細則第1号22条の顕彰基準に定める称号を授与。

吟功章 (上師範、高師範、総師範)

特別吟功章 (宗 範)

4. その他の事業 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

(1) 定時総会の開催 令和4年6月4日 (土) エーリック (尼崎市)

(2) 各種会議

① 総会

- ② 役員会(正副会長会・理事会)
- ③ 元老・相談役・参与・代議員会議
- ④ 局部会 (管理局総務部・管理局財務部・管理局組織部)
- ⑤ 懇談会等
 - ・青年部員懇談会
 - ・都府県連合会代表者会議
- ⑤ 東明未来塾運営委員会
- ⑥ 財政健全化特別委員会
- ⑦ 創立 90 周年記念大会実行委員会・記念誌作成委員会
- ⑨ その他特別検討委員会